



## 千葉県内で野生カモ類の糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルス (H7亜型)が検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している野生カモ類の糞便のサーベイランス検査において、採取した糞便1検体から、低病原性鳥インフルエンザウイルス(H7亜型)が検出されました。今シーズンは既に国内各地の農場や野鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認されています。引き続き厳重警戒をお願いします！

現在国内のHPAI発生家きん農場1例目から7例目までについて、国の疫学調査チームの現地調査概要が公表されています。いずれの事例においても発生農場周辺でカモ類や水禽などの野鳥が多数確認されたことが指摘されています。

飼養衛生管理基準を遵守し、ウイルス侵入防止対策の見直しをお願いします！

【現地調査概要は、以下からご覧いただけます】

 [https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r6\\_hpai\\_kokunai.html#3](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r6_hpai_kokunai.html#3)

### 今シーズンの事例を踏まえた新たな「隙」を埋める対策

今シーズンの事例では、農場への**外部入場者**が靴の履き替え等の**飼養衛生管理が不十分**であった事例や、乾燥し**塵埃が舞いやすい環境下**において**換気をした後**に**入気口周辺に死亡鶏が分布**していた事例が見られました。

〈対策〉

農場に**塵埃が大量に侵入する状況**を避けるため、以下の取組が重要と考えられています。

☑ウインドウレス鶏舎であれば、**フィルターの設置**

☑開放鶏舎であれば、乾燥環境下における**散水・消毒が有効**

（鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議資料より抜粋）

# 正しく消毒できていますか？ ～消石灰～

消石灰は家きん舎周囲及び農場外縁部に散布しましょう。

## 【散布量目安】

- ・ 日常  
→ 床面が白くなるように  
十分に散布
- ・ 伝染病発生時  
→ 1㎡あたり1kgを目安に  
均一に散布



## 【効果】

- ・ 水を加えると**強アルカリ**になり、病原体が死滅する。
- ・ 屋外の土壌上など、周りに水分がある環境下では待ち受け消毒として効果が出る。 ※1、2
- ・ 野生動物の忌避効果がある。 ※3

- ※1 乾燥したコンクリート上への散布時は消石灰 1 袋(20kg)に3～4Lの水を散布すると効果的です。
- ※2 消毒したい対象に含まれる水分量で作用時間が変化します。
- ※3 長期間は作用しないため、侵入防止の柵や、防鳥ネットの設置等別途野生動物対策を適切に行う必要があります。

## 【注意】

- ・ 粉の状態では**強アルカリ**ではないため、瞬時に病原体を殺滅できない。

石灰帯を車や長靴で通過することにより消毒効果を得る為には、  
あらかじめ消毒槽や水でタイヤや長靴を濡らし

**消石灰と水を接触させましょう！**

- ・ 雨で濡れたり、野外散布後、長期間放置すると炭酸カルシウムに変化し、殺菌効果が減弱する。

野生動物侵入対策の徹底をお願いします！

- ・ 野生動物を誘引するような環境が農場内にある場合は、早急に対策を！  
☑餌こぼれ ☑実のなる樹木 ☑水場 ☑廃棄卵の放置 など
- ・ 野生動物が家きん舎に入れない環境づくりの徹底を！  
☑防鳥ネットの設置  
☑バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋などの隙間対策